

令和 6 年度
西条小学校第 2 回学校運営協議会

- 1 日 時 令和 6 年 1 0 月 2 3 日（水）
午前 1 1 時 0 0 分～午後 3 時 4 5 分
- 2 場 所 鴨川市立西条小学校校長室
- 3 参加委員 庄司利男、高橋和夫、小原好一、刈込高志、庄司文子、粕谷瑠美子、
高梨美佐子、濱崎順治（8 名）
- 4 学校運営協議会の概要
- ①授業参観
- ・ 1 年（図工） ・ 2 年（算数） ・ 3 年（校外学習） ・ 4 年（算数）
 - ・ 5 年（音楽） ・ 6 年（理科） ・ なかよし 1（国語） ・ ふれあい 1（算数）
 - ・ ふれあい 2（算数）

②報告

- ・ 前期の児童・保護者・教職員アンケート結果について

③後期の教育活動について

④意見交換会について

- ・ 報告内容について

「テレビやゲームの時間を決めて生活をしている」というアンケートの質問項目では、「児童も保護者も時間を決めて、ゲームやタブレット・スマホ使用していない」と回答していることが多いことについて話題となった。ゲームやスマホ・タブレットを長時間操作しているために、眠りにつく時間が遅くなり、朝、早起きができない児童が多く、起こすのに保護者は苦慮していることに触れ議論した。睡眠に入る時間と朝起きた時間の記録を取り、一人一人の睡眠時間を可視化し、十分な睡眠が取れているかを把握することで睡眠に対する意識を高める。または、ゲームをする時間を予めセットし、その時間をオーバーすると使用できなくする。保護者がゲームやスマホを買い与えた時点で、毅然とした態度でルールを決め守らせることが必要である。さらに、中島展（ひろと）先生からは、ゲームやスマホ・タブレットから発せられるブルーライトが、睡眠ホルモンであるメラトニンの分泌に影響を及ぼす可能性があることや、寝る直前までスマホやタブレットの画面を見ていると、脳に誤った情報が伝達され覚醒することで眠りの質が低下し、生体リズムや生理的調整機能に変調をきたす可能性があることが証明されていることを聞くことができた。

今回は意見交換会の後、中島展先生より～子どもの成長に大切な親のかかわり方～と題し、ミニ集会を聞く機会を与えていただいた。子育てに不安を抱えている保護者が 3 3 名参加し、先生の講話に聞き入った。参加者のほとんどが先生の話す内容に傾き心を惹かれ、「今日帰ったら直ぐに子どもに実践してみたい」と感想を述べていた。講話の内容については、この後、西条小の保護者に Y o u T u b u で視聴できるようにし、広める予定である。

- ・桜の植樹について

西条小学校では、校庭及び幼稚園跡地に桜及びツツジの植樹を予定しています。令和6年11月10日（日）午前9時より、公益財団法人三菱UFJ環境財団一般社団法人自然環境保全委員会による「令和6年度鴨川緑の保全活動プロジェクトさくらフェス」の一環で、山桜とツツジの記念植樹を児童と保護者で校庭や幼稚園跡地駐車場の環境を整えるために開催します。ついては、子ども会育成会が中心となって、保護者に呼びかけ市長と共に記念の植樹を実施しますので、たくさんの児童や保護者に集まっていただきたいと委員より呼びかけがあった。

- ・S・B・C（西条小ボランティア部）について

西条小学校では、S・B・Cボランティア部が発足したことにより、マラソン大会の試走での見守りを依頼することができたり、学校周辺の環境整備を依頼することができたりと、様々な面で学校をサポートしていただいていることで、安心・安全を子供たちに提供することができている。保護者の数が減少してきていることや共働きで環境整備作業等に参加できない保護者が増えてきている中で、心強い存在であることを確認した。

学習活動のサポートについて

小原好一委員の計らいにより、5年生の稲作づくりにおいて全面サポートをしていただいたことにより、子どもたちは稲刈り・はざかけ・脱穀までを体験することができた。この過程の作業には、第八営農のみなさんの協力や地域の皆さんのご協力により、子どもたちはスムーズに脱穀までの過程を学ぶことができた。また、1・2年生が、25日（金）にさつま芋の収穫する日を迎えることができたことを報告した。その陰には、トラクターで芋畑を耕し畝までを作っていただいた小原さんの功績があったからこそ、今があることに感謝し伝達をした。

通学路の危険箇所について

朝の登校指導について、委員長の庄司利男さんが、毎日子どもたちと一緒に登校し、子どもたちの安全を指導していただいていることに触れ、子どもたちの声を拾って学校にその情報をもらっていることに学校は感謝していることを伝えた。